憲法が輝く兵庫県政をつくる会 2014年2月26日 ール:Info@kenpo-kensei.com HP・ツイッター

「兵庫・憲法県政の会」検索! 【部内資料】

60 10

が

輝く兵庫県政

を

つくる会」

は、

2 月

約第

達点に立ち、過 や安全のために真剣に生かす県政、 人が出席しました。 口 くことを確認しました。 の実現のために、県政要求 [定期総会を開催 過去最高の得 次期選挙にむけ、 Ų 言票を得り 0) 加入団 知事 た 2 0 の結集と学習運 Ď | | | | 権 1 「憲法が」 限 3 を県 地 域の 知 運動を強化な輝く兵庫の 民 事 会から に のくらいという。

2014年2月19日 特別報告する田中代表幹事 (上) 発言する津川兵庫労連議長(右上) 討論に集中する参加者(右) 中代表幹のあ

を図ることなどを図ることなどを図ることなどを図ることなどを別の表の拡大・強化を図ることなどをが加入団体から現まな要求や、その実まな理題研、表幹事が提上た。決算・され、最後に武力をおこないをおこないをおこない。 を問題研、兵庫県自治のののとの拡大・強化地域の会の拡大・強化地域の会の拡大・強化がより、では、地域ののをおこなどを呼ばれ、最後に武力を表が、長く、といるといるといる。

13

2013年兵庫県知事選挙の記録 ウィーラブ兵庫 7

県

し到

「ウィーラブ兵庫⑦2013年 選挙記録集」発刊

新しい政治」への模索の 憲法を指針に県政 検証を

あは、 さ つ、川山山

が広まった。 を指針にして、兵庫県政を検証からの模索がある中で、「憲法」治」に変えようという色々な角質 ていくことが重要になっている。 かようとする国民のたたかれまするとともに、それを発見の選挙以降、安倍政権の見 .変えようという色々な角度何した。国民の「新しい政 するとともに、それを食 選挙以降、安倍政権の 代表幹事 V

万5千増の結果に確 期待に応える活動を 田中耕太郎 代表幹事

き、確信を持ち、県民のその期待 で」の座談会からぜひ学んで頂 を持に結びつけようとする力が当 を持に結びつけようとする力が当 が。そのことを「ウィーラブ兵庫 だ。そのことを「ウィーラブ兵庫 が。そのことを「ウィーラブ兵庫 が。そのことを「ウィーラブ兵庫 大事 知 今後どう応えていくかという 光派間 すだ。 な 事 選 ||のたたかいの中で、オー参議院との同時選挙と 挙 の結果をどう見るかが い

の青年たちといっしょこととうたたかいました。今こそ兵庫県中

る」という展望を広げていきたい

「社会は変わるし

戦前の厳しい時にも展望をもって光あり」と、私たちの先輩はあの

前の厳しい

「青年が動くとき、すでに勝利のん行動に立ち上がっています。▼

のり(憲) を上げ立ち上がる青 のり(法)

といっしょに

学生時代に「3・11」を目の当争にいきたくないデモ」が準備されています。▼中学、高校時代やれています。▼中学、高校時代やのいて訴える「就活デモ」がとり 青年は新しい政治を求めてどんどいのか」「何か行動したい」などたりにし、「このままの社会でい が今の厳しい就職難と就職活動に とりくまれ現在も続いています。 日の関電神戸支店前の抗議行動がおこなわれ、7月からは毎週金曜原発問題を考えるデモが定期的に 2年2月から学生たちが主催して の運動が広がっています。201が、この兵庫県でもこうした青年尽くしたのは記憶に新しいです ▼2013年11月には学生たち 昨年末に国会前を多くの人が埋 が続々と立ち上がっています。▼ 安倍政権への不安の声が広が 「こんな社会でいいのか」と青年 、や集団的自衛権の特定秘密保護法の強 暴走につぐ暴走を続けている

来賓あいさつ

兵庫県自治体問題研究所 岡田章宏理事長

安倍政権によって、大学も痛 めつけられ、国立大学の「国策 大学化」に振り回されていま

この1年の変化で、大阪都構 想は、風前の灯火となっていま すが、その影で、アベノミクス を「追い風」にして、「地方の 主体性」が無視され、国家の主 導が強まっています。安倍政権 は、アベノミクスも秘密保護法 もやり方が乱暴です。安倍さん の政治の先に「あるべき姿」が あるのではなく、「古めかしい 世界」があるだけです。尖閣問 題でも、外交力を高めるべきな のに、力の対応という時代錯誤 です。

私たちが生活者の視点で、生



活の中で考えたことを、みんな で議論し、つくり上げていくこ とが大切です。生活の実態をふ まえ、一つ一つ緻密に考えて、 それらを地道に解決しようとす る方々がたくさんおられます。

そこの視点から新たな時代を 見つけていくことが、もっとも 重要ではないかと思います。そ のことが憲法県政の会の考え方 と一致していると思っていま す。次の時代をどうつくってい くのか、議論しておく大事な時 期だと思います。実りある議論 を祈念します。

し求リ止税しが、 兵 あフェ、のん、 東 高 オ中中で 事 連 ペーム 当 - L、乱暴 - L、乱暴 - L、乱暴 転は 一ム制度の制定などを県に小企業振興基本条例や住宅小のできない」と業者は苦いな。私たちは、消費税増いる。私たちは、消費税増いる。私たちは、消費税増税を当然視するは消費税増税を当然視する 磯谷吉夫会長 強め、いたなどを県に

をつうじて

人要

八親家庭 安求と県

の政

医が

4月に総会を開いて取り組みを行うか。 いかに日常的に県いかに日常的に県い うりょう

の会」という自覚が高ま、昨年の選挙を通じ、「自分な(庫区の会・井村弘子事務局長

分た

会

感。

宅中増苦る 身近だと実t めのにを、エゖニ いく力をつけたい。 活 動 活 動 会 まちを自分た 動総 月に 会・ -マに学習会をしたりに安倍政権とのた 会を を 由利美香事務 新町美千代事務局次長 検 開 院討する。学開き、選挙 でつくって、学習を強した。4月のたたかい 局次長

組みを強めて変える、監案書にある。 め医 平事 -和と子ども、 地 いる。 るよう を 方か して .. ら兵ない 命庫無 る 樹理事長

なる抵が共運調 ろ力抗持同動査安 う。をが続ものを倍

Ļ

生.

地の様々思

つ広

域を変

を変える

続広の成り

生活と地域のっている。様のは、当働法制改させたのは、

広がって 成果。労糧 をしました。

のもとでブラック企

加

削

高

校

 \mathcal{O}

通

閉会あ す以いは 上環派新に境遣型 村義人代表幹事 ことが必要。若い世代上に社会の病で、それ境境が生んだもの。個派遣・非正規で未来が新型うつ病を勉強した いさつ そちらを治畑した。中身

代に

取り等運動をはないで 1 月 運動 0 いデモ、被曝体験の等が。学生の戦争にを集中できない青年 青 は広がって 0) 聞

青同盟・ 中できない青年教員年集会では多忙で教 垣本聖副委員長 争に行き

声助人次共 共産党県議団・きだ結議員 明成の県負担削減な 人親家庭の医療補助 次行革プランで高齢 共事業の積み増しが もいました。 んでがんばりたい。 など。 助削者 が基 減医本門 県 療、 閣 R 民 私 の学 第の

もれ、普及の一番のでは、 教育改革とのたたかもクーラーが切られ 立 通農業 一校予算 ラーが切られる事態に。連高校、特別支援学校で農業高校は家畜が減らさ業高校は実験ができなく ٠ が 10 いも。 % 単 位

なポポリ |療無料化に取り組 ひどい。中学3年ーアイへのこども 稲次寛書記次長 んで 年ま いる。 病 で で院区 の移拡

県「行革」に異議あり!

3

私学助成削減で、高校生一人当りの予算が半減 兵庫県私立学校教職員組合連合

執行委員 永島 徳顕

私学助成(経常費補助)は、県「行革」により削減の標 的とされている。私立高校生一人当りに対する県独自の予 算は72,069円から、2014年度予算の37,614 円にまで減額されている。

ここで問題なのは減額されていることはもちろんだが、 その裏に隠れている県の私学に対する姿勢である。交付税 措置が一般財源化されるのをいいことに、授業料軽減補助 などとの重複解消を理由に、満額を予算化せず、その上県 独自の予算も削る方式を定着させたことである。

また、授業料軽減では、国の制度改正に伴い、対象を世 帯年収570万円までだったのを590万円まで県として 拡大したと言うが、実際は県独自の加算を廃止している。 このような欺瞞を許さない県民の監視が求められる。

県が福祉医療改悪計画、請願署名3195筆を提出

兵庫県保険医協会 事務局次長 角屋洋光

兵庫県は「第3次行革プラン」の中で、老人医療費助成 事業の患者窓口負担を引き上げ、母子家庭等医療費助成事 業でも患者窓口負担増と対象者の6割を対象外にする所得 制限額の引き下げを計画している。

これに対して県保険医協会は、患者からの請願署名3,

195筆を県議会に提出した。また先に234氏の院長署 名を医療保険課に提出した。改悪案を実施した場合の県費 削減額は5億4千万円にすぎず、「母子家庭の福祉医療外 しはあまりにもむごい」など厳しい批判の声が寄せられて

特別支援学校 バス添乗は民間委託されるも、 介助員の雇用は継続へ

兵庫県高等学校教職員組合 書記長 中村邦男

2014年4月に、姫路特別支援学校から分離する形で 姫路しらさぎ特別支援学校が開校します。新設校のバス添 乗業務は民間委託するという県の行革方針があるため姫路 特別支援学校の介助員24名の約半数が解雇の危機にあり ました。

しかし、行革は解雇が目的ではないはず、全員の雇用を 確保せよという高教組と兵庫労連などの要求に対して、県

教委は、最大限努力す るという前向きの回答 を示し、希望者全員の 雇用継続が実現する運 びとなりました。教育 の質を低下させる県行 革と民間委託は大問題 です。御支援ありがと うございました。



12月の県「行革」ストップ連絡会の県交渉